

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名 筋疾患診療研修プログラム

病院名：東埼玉病院

2. 診療科（専門領域）：神経内科，小児神経科，循環器科

3. コースの概要

留学期間中，筋疾患診療部門にてさまざまな筋疾患症例を経験し，その診断および経過を通じた治療を経験する。

4. 短期目標

- ・さまざまな筋疾患の病態を理解し，的確な病態把握に基づいて，適切な治療を判断し提供できるようになる。
- ・筋疾患の診断と病態把握に必要な検査を理解し，適応と結果を判断できるようになる。
- ・成長期の小児から進行期の成人に至る筋疾患の病像を理解し，その全体像を踏まえて適切な医療を提供できるようになる。

5. 長期目標

- ・筋疾患の診療経験を，病態解明や治療開発に活かす。
- ・神経内科専門医としての自らのあり方を模索する。

6. 取得手技

- ・筋疾患の病型診断に役立つ臨床徴候を理解し，病歴と診察所見から筋疾患の鑑別診断を挙げられるようになる。
- ・筋疾患の診断に必要な筋電図検査，筋病理学的検査，画像検査，血液検査および遺伝学的検査について，適応と限界を学び，実施および結果の判断ができるようになる。
- ・筋疾患患者に必要な，心機能・呼吸機能・嚥下機能といった病状評価に基づいて，適切な治療の導入とマネジメントができるようになる。

7. 研修期間：3～6 か月

8. 募集人数：同時期に2名まで

9. 診療科の実績

主要疾患	入院数（年間）
筋ジストロフィー，先天性ミオパチー	280
筋炎	10
筋萎縮性側索硬化症	25
多系統萎縮症	30
脊髄小脳変性症	35
パーキンソン病関連疾患	40
ニューロパチー	15
プリオン病	5

10. 診療科の指導体制

医師数 常勤 9名，期間医師 1名，非常勤 1名

指導にあたる医師 8名（神経内科6名，循環器科1名，小児神経科1名）

主として研修指導にあたる医師の氏名 鈴木 幹也（経験年数 25年）

11. コンセプト

当院はわが国の筋疾患診療における拠点病院の一つであり，多彩な病型の筋疾患患者を多数診療している。診断から治療に至るまで，豊富な経験を得られる。

病歴と診察所見から筋疾患の病型診断および検査と治療の方針を検討する。

進行期筋疾患患者に必要な心肺機能や嚥下機能の評価とマネジメントを体得でき，その経験は一般診療にまで応用できる。

さまざまな病期の筋疾患症例を多数経験できるので，経過が長期にわたる筋疾患の全体像を短期研修で俯瞰することが可能である。

希望により神経難病診療研修プログラムと組み合わせることが可能である。

12. その他（研修関連情報など）

新患カンファレンス、回診（毎週月曜日の午後）

診療カンファレンス（平日の午後）

症例検討会（必要に応じて開催）

脳病理カンファレンス：brain cutting（必要に応じて開催）